

## 論文

- 1) Understanding Students' Psychological Needs  
in an English Learning Context      バードセール ブライアン ジョン      1
- 2) Stranger Magic: On the Social Role of Itinerancy  
in Northeastern Japan      ソロモン ジョシュア      15
- 3) ポートフォリオを用いた自律学習の検証：自己調整学習の観点から  
立田夏子      25
- 4) 聴覚障害学生を支援する学生のノートテイクとしての支援観形成過程  
—内省ノートの分析から—      増田貴人      37

## 実践報告

- 1) A Brief Account of Student Investment and Reflection  
in Active Learning Projects Presented to Multicultural Audiences  
in the English Lounge: “Japanese Food Our Way!”  
and “This is Japanese Cooking!”      バーマン シャーリー ジョイ, 多田恵実      47
- 2) 聞き手を意識したプレゼンテーションの指導実践  
—「話し手」と「聞き手」の相乗効果を得る—      佐藤 剛      61

## 書評

- 1) 単純な“事実質問”の集積が驚くべき対人援助効果を発揮する  
中田豊一 『対話型ファシリテーションの手ほどき』  
(認定NPO法人ムラのミライ, 2015年)      平野貴大, 加藤博之      75

## 目 次

## 論 文

- 1) Understanding Students' Psychological Needs in an English Learning Context  
..... バードセール ブライアン ジョン 1
- 2) Stranger Magic: On the Social Role of Itinerancy in Northeastern Japan  
..... ソロモン ジョシュア 15
- 3) ポートフォリオを用いた自律学習の検証：自己調整学習の観点から  
..... 立 田 夏 子 25
- 4) 聴覚障害学生を支援する学生のノートテイカーとしての支援観形成過程  
—内省ノートの分析から—  
..... 増 田 貴 人 37

## 実践報告

- 1) A Brief Account of Student Investment and Reflection in Active Learning  
Projects Presented to Multicultural Audiences in the English Lounge:  
“Japanese Food Our Way!” and “This is Japanese Cooking!”  
..... バーマン シャーリー ジョイ, 多 田 恵 実 47
- 2) 聞き手を意識したプレゼンテーションの指導実践  
—「話し手」と「聞き手」の相乗効果を得る—  
..... 佐 藤 剛 61

## 書 評

- 1) 単純な“事実質問”の集積が驚くべき対人援助効果を発揮する  
中田豊一 『対話型ファシリテーションの手ほどき』  
(認定NPO法人ムラのミライ, 2015年)  
..... 平 野 貴 大, 加 藤 博 之 75

## 「弘前大学教養教育開発実践ジャーナル」投稿要項

平成 28 年 11 月 22 日  
 教養教育開発実践センター編集委員会承認  
 改正：平成 29 年 8 月 4 日

1. 「教養教育開発実践ジャーナル」は、高等教育に関する実践的・学術的研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2. 発行は原則として年 1 回、3 月末とする。
3. 原稿の締切は概ね 10 月下旬とする。
4. 「教養教育開発実践ジャーナル」に掲載する原稿は、次に掲げる(1)～(5)に属するものとし、掲載の可否は編集委員会が判断する。ただし、(1)論文、(2)研究ノートについては査読審査を経たものに限る。
  - (1) 論文：教養教育に関する論文
  - (2) 研究ノート：教養教育に関する研究ノート
  - (3) 実践報告：教養教育に関する実践報告
  - (4) 書評：教養教育に関する著書の書評
  - (5) その他
5. 論文は、和文（横書・縦書）又は英文を原則とする。
6. 論文は、和文 20,000 字以内、英文 6,000 語以内を目安とする。
7. 原稿の作成に際しては所定の執筆要項（別掲）に従うものとする。
8. 校正は原則として著者が行い、2 校までとする。
9. 別刷を希望する場合、経費は著者負担とする。
10. 「教養教育開発実践ジャーナル」に掲載された論文等の著作権及び電子化の権利については、以下のとおりとする。
  - (1) 掲載された論文等の著作権は、教育推進機構教養教育開発実践センター（編集委員会）に帰属する。
  - (2) 当該論文等について、執筆者本人が学術教育目的等で使用する場合（執筆者自身による著作編集物への転載、掲載、ネット配信、外国語への翻訳、配布等）、教育推進機構教養教育開発実践センター（編集委員会）は無条件で許諾する。
  - (3) 掲載された論文等は電子化し、原則としてHP、弘前大学リポジトリ等で公開する。
11. 投稿原稿は他誌に未発表のものに限る。

### 附 則

この要項は、平成 28 年 11 月 22 日から施行する。

### 附 則（平成 29 年 8 月 4 日）

この要項は、平成 29 年 8 月 4 日から実施する。

以上

なお、執筆要項は現在改定作業中です。

## 教養教育開発実践センター編集委員会

編集委員長 片岡 俊一 (大学院理工学研究科)  
編集委員 今田 匡彦 (教育学部)  
今泉 忠淳 (大学院医学研究科)  
糠塚 いそし (大学院理工学研究科)  
中村 裕昭 (教育推進機構 教養教育開発実践センター)  
横内 裕一郎 (教育推進機構 教養教育開発実践センター)  
(2017年10月～)

編集委員長 渡辺 麻里子 (人文社会科学部)  
編集委員 今泉 忠淳 (大学院医学研究科)  
中村 裕昭 (教育推進機構 教養教育開発実践センター)  
横内 裕一郎 (教育推進機構 教養教育開発実践センター)  
(2017年7月～2017年9月)

## 編集後記

この度、無事に「弘前大学教養教育開発実践ジャーナル」第2号を刊行することができ、編集委員長として安堵しております。実は、昨年10月に教養教育開発実践センター運営委員会の委員構成が大幅に入れ替わったことから、編集委員会の始動が遅れました。編集委員長を拝命した時点では、年度内発行が危ぶまれる状況でしたが、執筆者の皆様は勿論、査読にご協力頂いた皆様、編集作業に関わった事務職員の皆様、編集委員各位のご協力をいただき、無事にここまでたどり着きました。関係各位に多大なご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、ご協力に改めて感謝いたします。

さて、今回の紀要も様々な分野から投稿を頂きました。立場上、今まで目にすることがないような分野の論文も読みましたが、いずれの報文も大変面白いものでした。このように多分野からの投稿があることは、当学の教養教育の発展に大変有意義なものだと思った次第です。

編集委員長の任期は複数年ですので、本腰を入れて、今後一層よりよい雑誌にすべく努力して参りたいと思っております。本誌について、皆様のご批評を賜りましたら幸いです。今後とも、ご教導賜りますようお願い申し上げます。

(片岡)

## 『弘前大学教養教育開発実践ジャーナル』第2号

---

発行人 弘前大学 教育推進機構 教養教育開発実践センター  
編集 教養教育開発実践センター編集委員会  
連絡先 〒036-8560 青森県弘前市文京町1  
学務部教務課教務グループ 教養教育担当  
電話：0172-39-3104 E-mail：jm3104@hirosaki-u.ac.jp

発行所 弘前大学出版会 **HUP**  
〒036-8560 青森県弘前市文京町1  
電話：0172-39-3168 FAX：0172-39-3171

発行年月日 2018年3月31日 (非売品)  
印刷・製本 やまと印刷株式会社

---

*Hirosaki University*2018.3  
Vol. 2**Journal of  
Liberal Arts Development and Practices**

---

**ARTICLES**

- Understanding Students' Psychological Needs in an English Learning Context  
Brian J. BIRDSELL 1
- Stranger Magic: On the Social Role of Itinerancy in Northeastern Japan  
Joshua SOLOMON 15
- An Investigation of Self-Study through Portfolios:  
Based on Self-Regulated Learning Natsuko TATSUTA 25
- The Forming Process of Student Supporters' Awareness as Note Takers  
for Student with Hearing Impairment: Analysis of Reflection Records  
Takahito MASUDA 37

**PRACTICAL REPORT**

- A Brief Account of Student Investment and Reflection in Active Learning Projects  
Presented to Multicultural Audiences in the English Lounge: "Japanese Food Our  
Way!" and "This is Japanese Cooking!"  
Shari Joy BERMAN and Megumi TADA 47
- Speech Presentation Instruction: Focusing on Listener Awareness  
to Realize Multiplier Effects  
Tsuyoshi SATO 61

**BOOKREVIEW**

- The Accumulation of Simple "fact questions" Suggests Surprising Interpersonal  
Helping Effect  
Toyokazu Nakata, "Introduction of Meta-Facilitation" published  
by (-Approved Specified Nonprofit Corporation Murano Mirai-)  
(Takahiro HIRANO, Hiroyuki KATO) 75